

DMZ国際ドキュメンタリー映画祭2021
グランプリ
ホワイトゲース賞

ソウル独立映画祭2021
実行委員会 特別賞

山形国際ドキュメンタリー映画祭2021
インターナショナル・コンペティション部門



『ディア・ピョンヤン』『かぞくのくに』
ヤン ヨンヒ 待望の最新作

ついに母が教えてくれた
おいしいスープのレシピと
「済州4・3事件」の実体験
チュンジュ

スープ。と *Soup and Ideology* イデオロギー

監督・脚本・ナレーション：ヤン ヨンヒ

撮影監督：加藤孝信 編集・プロデューサー：ベクホ・ジュイジュイ 音楽監督：チョ・ヨンウク アニメーション原画：こしだミカ
アニメーション衣装デザイン：美馬佐安子 エグゼクティブ・プロデューサー：荒井カオル 製作：PLACE TO BE 共同制作：navi on air
配給：東風 韓国・日本 | 2021 | 日本語・韓国語 | カラー | DCP | 118分 © PLACE TO BE, Yang Yonghi

soupandideology.jp

ヨンヒ、あとは頼んだで。

(C) PLACE TO BE, Yang Yonghi



『ディア・ピョンヤン』『かぞくのくに』、そして本作。ヤン監督による三作品を束ねる圧倒的な強度。むきだしの母の生の姿を追い、やがて現れる家族の真実に心臓を射貫かれる。

平松洋子——作家、エッセイスト

「私たち」のすぐ隣に住み、「私たち」とは違うものを信じて生きている「あの人たち」。彼らがなぜそのような生きているのか、なぜ「私たち」には理解できないものを信じようとしたのか。監督でもある娘が撮影を通して母を理解していくように、この作品を観終わるとほんの少し「あの人たち」と「私たち」の間に引かれた線は、細く、薄くなる。

是枝裕和——映画監督

ひとりの女性の生き様をとおして
国家の残酷さと運命に抗う愛の力を
唯一無二の筆致で描きだす

年老いた母が、娘のヨンヒにはじめて打ち明けた壮絶な体験
——1948年、当時18歳の母は韓国現代史最大のタブー
といわれる「済州4・3事件」の渦中にいた。

朝鮮総連の熱心な活動家だった両親は、「帰国事業」で3
人の兄たちを北朝鮮へ送った。父が他界したあとも、地上の
楽園にいたはずの息子たちに借金をしてまで仕送り続ける
母を、ヨンヒは心の中で責めてきた。心の奥底にしまっていた
記憶を語った母は、アルツハイマー病を患う。消えゆく記憶を掬
いとろうと、ヨンヒは母を済州島に連れていくことを決意する。
それは、本当の母を知る旅のはじまりだった。

これまで私は自身の家族と北朝鮮との関係を描いてきたが、
今作で初めて韓国との関係に焦点をあてた。

タイトルには、思想や価値観が違っても一緒にご飯を食べよう、
殺し合わず共に生きようという思いを込めた。

ヤンヨンヒ

監督は『ディア・ピョンヤン』『かぞくのくに』など、朝鮮半島
と日本の悲劇的な歴史のうねりを生きる在日コリアン家族の
肖像を親密なタッチで写し続けてきたヤンヨンヒ。音楽監督を
務めたのは「お嬢さん」「タクシードライバー」約東は海を越えて
など、名だたる作品を生み出してきたチョンウク。

なぜ父と母は、頑なに「北」を信じ続けてきたのか？ ついに
明かされる母の秘密。あたらしい家族の存在……。これまで多く
の映画ファンを魅了してきた、あの〈家族の物語〉が、まったく
あらたな様相をおびて浮かび上がる。

Soup and Ideology

@soupandideology fb.com/soupandideology soupandideology.jp

日時 2025年11月22日(土) 上映 10時半、14時、18時半 の三回 上映時間 118分

会場 那須塩原市いきいきふれあいセンター(黒磯公民館) 3F 多目的ホール
(那須塩原市桜町1番5号 Tel 0287-60-1115 黒磯公園のそばです)

料金 ¥1,000円

チケット取り扱い 広谷地 蔵楽 ☎0287-74-5068 黒磯 ラクダ ☎0287-63-2986
那須町 那須まちづくり広場 コミュニティカフェ「ここ」 ☎080-4639-6480
西那須野 西三島 3-183-276 SHOPAIN ARTISAN BAKEHOUSE ☎0287-48-7707
大田原 トコトコ1階 Kabaco ☎0287-47-5764

主催 平和と憲法を守る! 栃木県北市民ネット 映画サークル「十人十色」

予約・連絡先 今岡 ☎090-8174-7257

栃木県北市民ネット
ホームページ



QRコードまたは
「県北市民ネット」
で検索して下さい